

2012 年 10 月から 2017 年 9 月までの間に北里大学病院および北里大学東病院で診断あるいは治療のために ERCP (内視鏡的逆行性胆管膵管造影)を受けた患者様へ

**「ERCP 後膵炎の早期診断における血清膵酵素値測定の有用性」**

医学情報の研究利用について

北里大学医学部消化器内科では国内で有数の ERCP 施行数を有しており、胆膵疾患の診断や治療の発展に貢献しております。このたび、2012 年 10 月 1 日から 2017 年 9 月 30 日までの間、北里大学病院および北里大学東病院で診断あるいは治療のために ERCP を施行された患者様の医学情報(具体的には年齢、性別、内視鏡施行の理由、治療内容、合併症の有無、退院までの経過など)を収集・解析することによって、今後のさらなる ERCP の発展に努める所存です。あらたに追加検査を行うことはありません。

なお、医学情報はすべて個人が特定できないように匿名化して使わせていただきます。収集したデータは、研究事務局において解析を行います。収集したデータは当科のデータベースで厳重に管理し研究終了後 5 年間保存した後、適切に破棄致します。5 年間のデータ保管期間中に本研究のデータを使用する新たな研究が企画された場合には、保管期間を延長し、新たな研究が倫理審査委員会で承認された後に 2 次利用を行います。

本研究の調査対象となる患者さんで調査への診療情報の使用に同意されない方はお申し出ください。2018 年 3 月 31 日までに下記実施責任者へご連絡いただければ調査の拒否ができます。また調査に参加されないことによる不利益は一切ありません。本研究は過去の医学情報を振り返って調査するものですので、書面によるインフォームド・コンセントはいただかずに、この掲示によるお知らせをもって実施されます。この件につきまして、ご質問がございましたら担当医に遠慮なくお尋ねください。

研究責任者

北里大学病院消化器内科 蓼原 将良(たではら まさよし)

電話:042-778-8111(北里大学代表)

対応可能時間:平日 9:00-15:00

Masayoshi Tadehara.